

令和元年9月3日 第8回林務部改革推進委員会【資料2】

# 林務部のコンプライアンス に関する職員意識調査について

長野県林務部

# 林務部のコンプライアンスに関する職員意識調査について その1

- 【目的】 林務部のコンプライアンスに関する取組の状況を把握し、今後の取組の参考にする  
 【期間】 令和元年7月24日～8月20日  
 【方法】 電子申請サービスを活用し、匿名性を担保して実施  
 対象331名、回答276名（本庁76名、現地機関200名）、回答率83%

## 【結果（速報値）：上位回答】

質問	回答数1位	回答数2位	回答数3位
1 大北森林組合等補助金不適正受給事案の発覚時(平成26年度)の所属を教えてください。 回答:276名	林務部現地機関 129人、47%	採用前 44人、16%	本庁林務部 42人、15%
2 あなたの所属では、業務が適切か常に点検・議論し行動していますか。 回答:275名	どちらかといえば行動している 139人、51%	行動している 119人、43%	どちらかといえば行動していない 16人、6%
3 今年度取り組んでいる項目のうち、部のコンプライアンス推進にとって特に効果的であると思う取組を最大3つまで挙げてください。 回答数:615、回答:260名	専門研修や担当者会議の実施による業務に必要な専門的知識や技術の習得 143人、23%	業務や所属にとらわれない自由な知識・技術研鑽の場「林務部オープンミーティング」を設ける 75人、12%	職員自らの工夫・実践により、効果を上げた取り組みを「改善提案」として展開、業務の効率化を図る 71人、12%
4 今年度取り組んでいる項目のうち、部のコンプライアンス推進にとって効果的でないと思う取組を最大3つまで挙げてください。 回答数:450、回答:222名	「頑張った」あるいは「きらりと光る」取組の収集と発信 98人、22%	林務部コンプライアンス推進行動計画を基に、業務改善に繋がる星取表を作成 86人、19%	林務部部課室長や関係職員が現地機関を訪問する等、直接課題を把握する機会を増やす 53人、12%
5 今年度取り組んでいる項目のうち、特に業務上の負担の大きいと思う取組みを最大3つまで挙げてください。 回答数:387、回答:210名	林務部コンプライアンス推進行動計画を基に、業務改善に繋がる星取表を作成 91人、24%	「頑張った」あるいは「きらりと光る」取組の収集と発信 52人、14%	業務内容や取組状況等を積極的に情報発信及びSNSを活用した情報発信方法の簡素化 52人、14%

# 林務部のコンプライアンスに関する職員意識調査について その2

## 【結果（速報値）：上位回答（続き）】

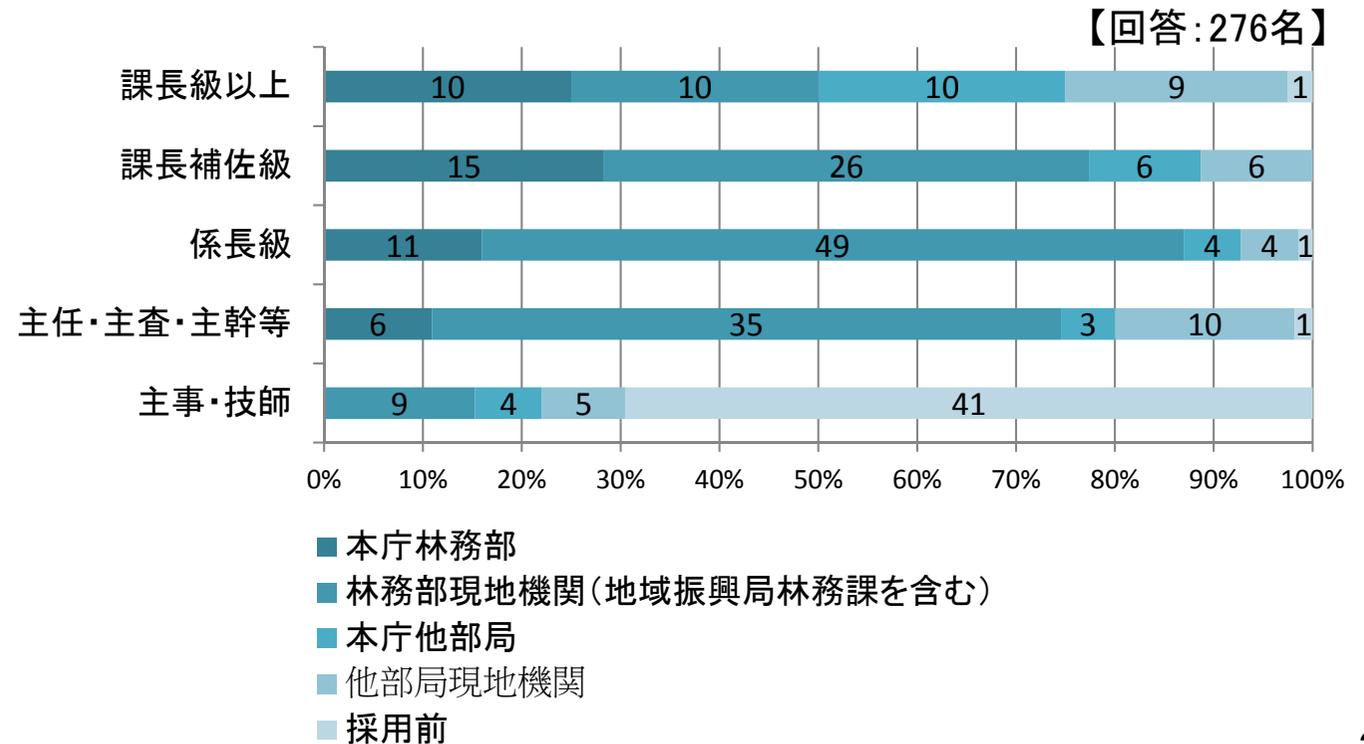
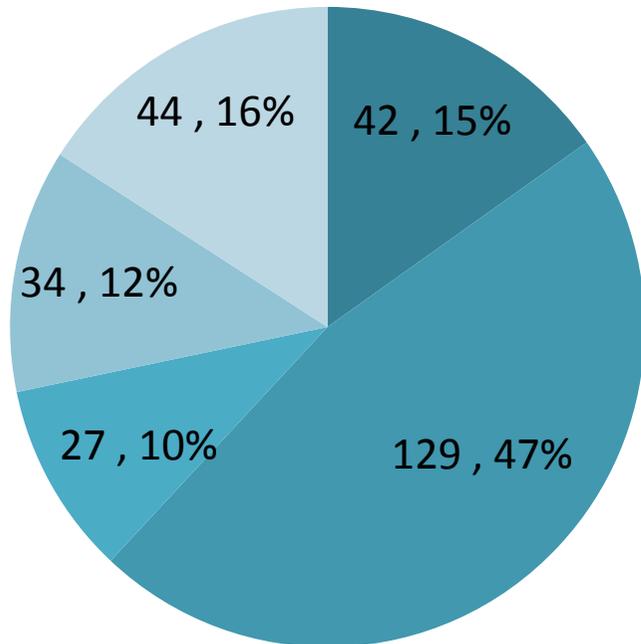
質問	回答数1位	回答数2位	回答数3位
6 林務部コンプライアンス推進行動計画の項目についてどう思いますか。 回答:270名	適切 123人、46%	やや抽象的である 95人、35%	抽象的である 25人、9%
7 林務部コンプライアンス推進行動計画の項目数についてどう思いますか。 回答:270名	やや多い 105人、39%	適切 84人、31%	多い 80人、30%
8 あなたが担当する業務の進捗について、どのくらいの頻度で直属の上司又は属する組織と共有していますか。 回答:273名	1回/月 81人、30%	1回/週 68人、25%	2回/月 55人、20%
9 令和元年度及び平成30年度の林務部コンプライアンス推進行動計画の取組項目に関して、あなたが実施、又は参加したことのある取組を全て選択してください。 回答数:642、回答:255名	係や担当を超えた業務の助け合い 157人、24%	コンプライアンスを踏まえた業務目標・チャレンジ目標の設定 121人、19%	専門研修等による業務に必要な知識・技術の習得 102人、16%
10 平成27年10月から始めた林務部コンプライアンス推進行動計画の取組によって、林務部のコンプライアンス意識は高まっていると思いますか。 回答:269名	やや高まっている 136人、51%	高まっている 78人、29%	変わらない 50人、19%
【自由記述】林務部のコンプライアンスに関する取組についてご意見やご提案がありましたらご記入ください。	主な意見：13P参照		

# 林務部のコンプライアンスに関する職員意識調査について その3

質問 1	大北森林組合等補助金不適正受給事案の発覚時（平成26年度）の所属を教えてください。				
回答	1 本庁林務部	2 林務部現地機関 (地域振興局林務課を含む)	3 本庁 他部局	4 他部局 現地機関	5 採用前
回答数	42	129	27	34	44
割合	15%	47%	10%	12%	16%

○大北森林組合等補助金不適正受給事案の発覚以降に入庁した職員は44名、16%に上る

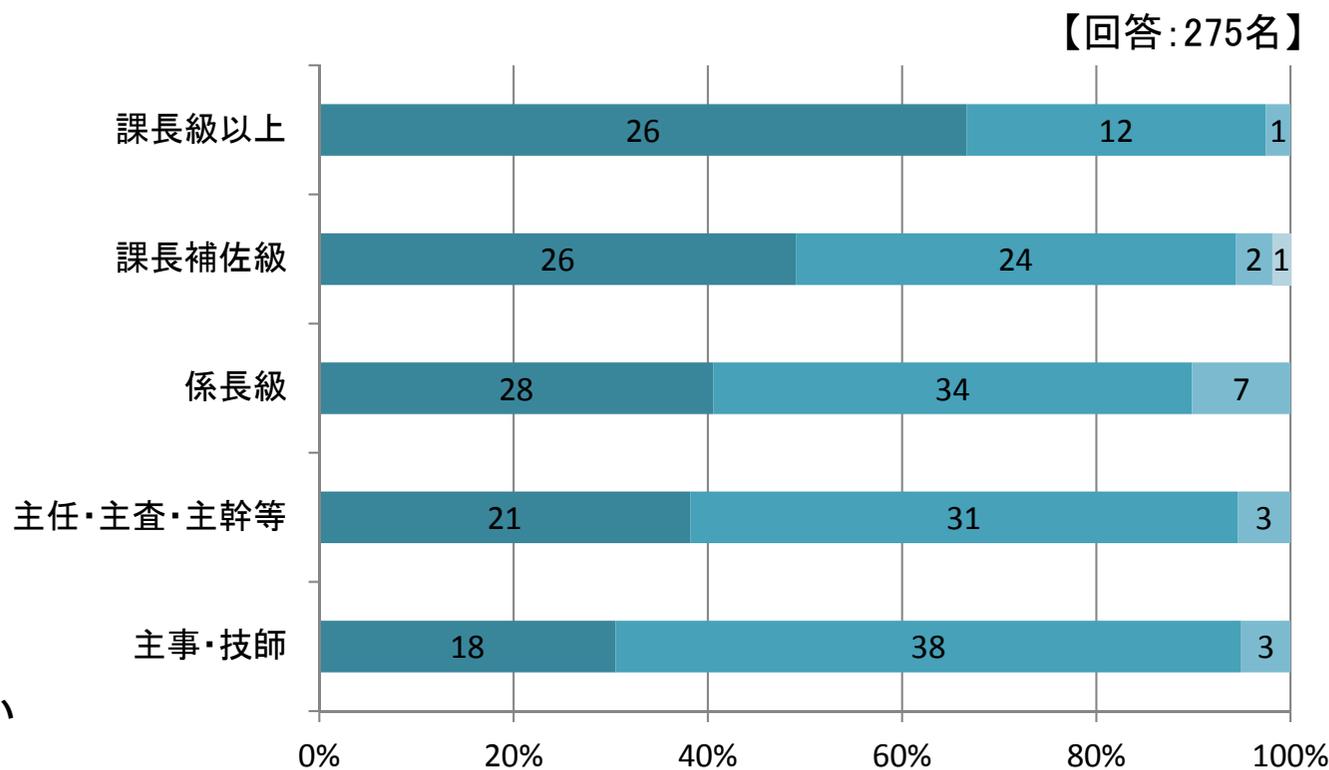
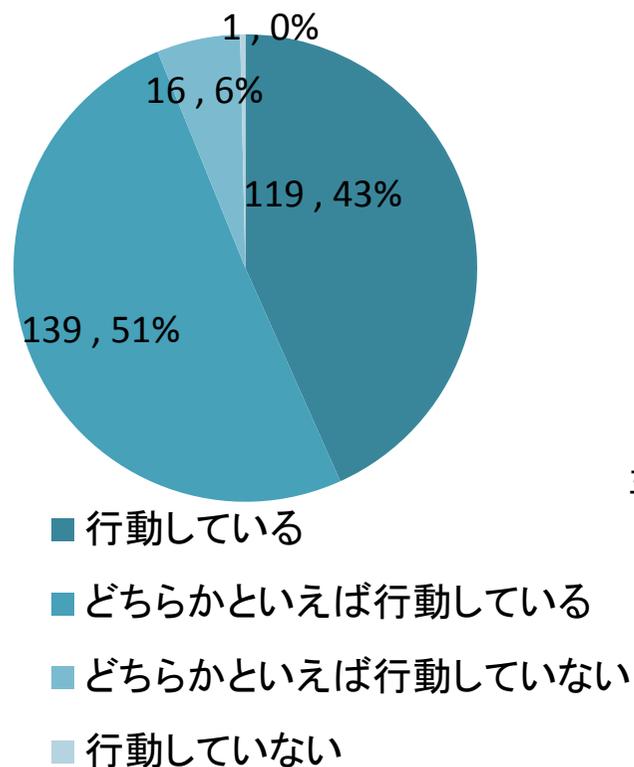
○本庁他部局、他部局現地機関、採用前を合すると林務部以外に所属の者は105名、38%に上る



# 林務部のコンプライアンスに関する職員意識調査について その4

質問2	あなたの所属では、業務が適切か常に点検・議論し行動していますか。			
回答	1 行動している	2 どちらかといえば行動している	3 どちらかといえば行動していない	4 行動していない
回答数	119	139	16	1
割合	43%	51%	6%	0%

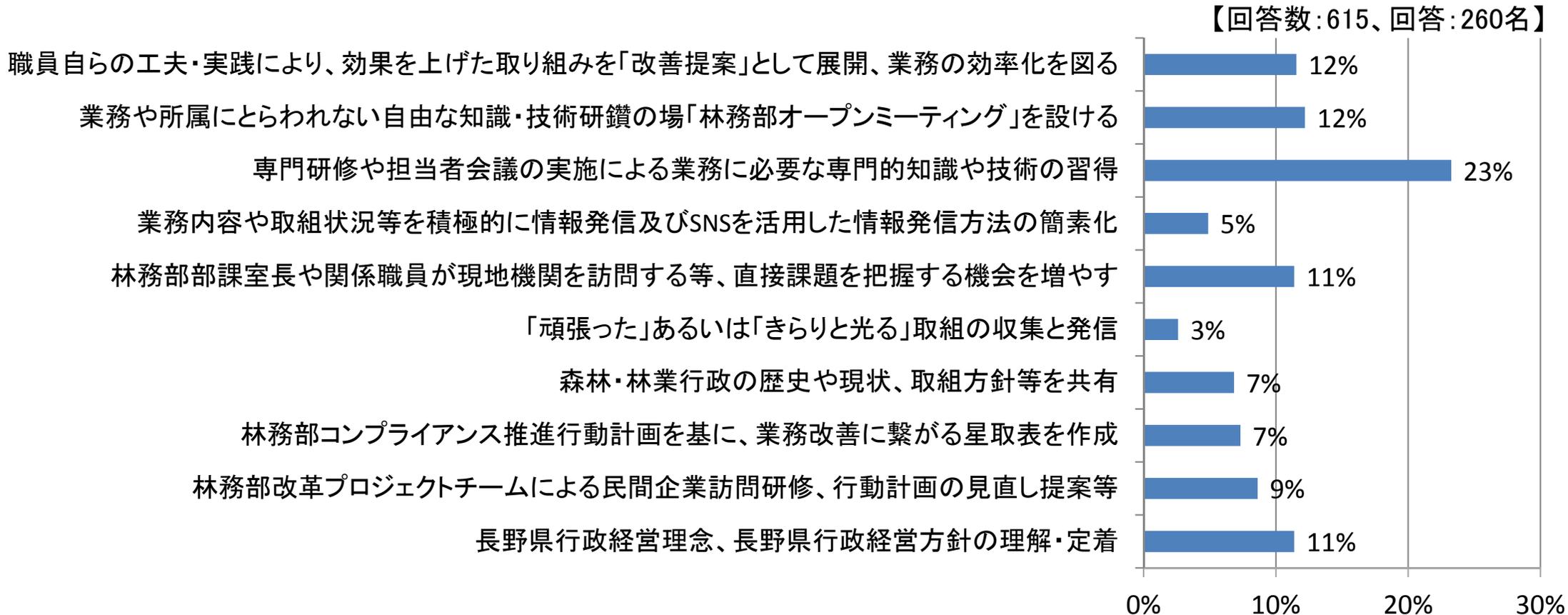
○「どちらかといえば行動している」は51%、「行動している」が43%を占める



# 林務部のコンプライアンスに関する職員意識調査について その5

質問 3 今年度取り組んでいる項目のうち、部のコンプライアンス推進にとって特に効果的であると思う取組を最大3つまで挙げてください。

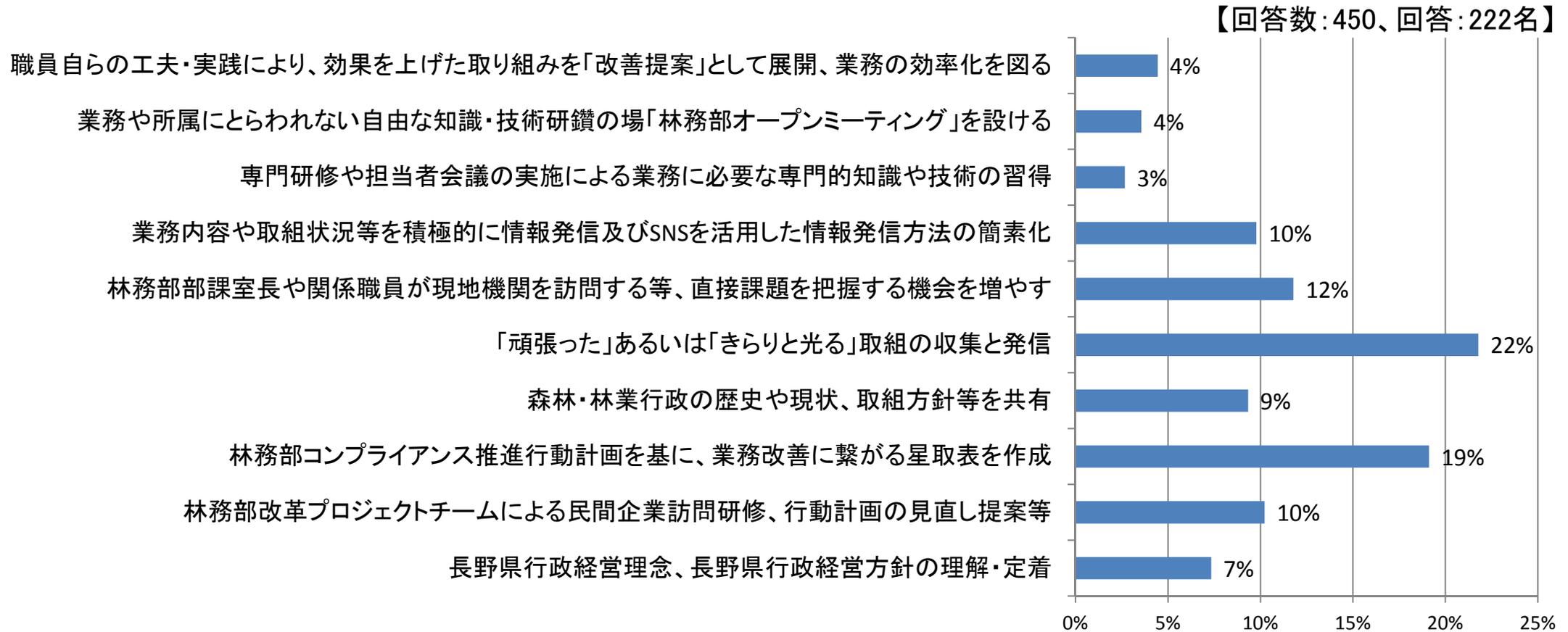
○効果的であると思う上位3つの取組は、「専門的知識や技術の習得」23%、「林務部オープンミーティング」12%、「改善提案による業務の効率化」12%



# 林務部のコンプライアンスに関する職員意識調査について その6

質問 4 今年度取り組んでいる項目のうち、部のコンプライアンス推進にとって効果的でないと思う取組を最大3つまで挙げてください。

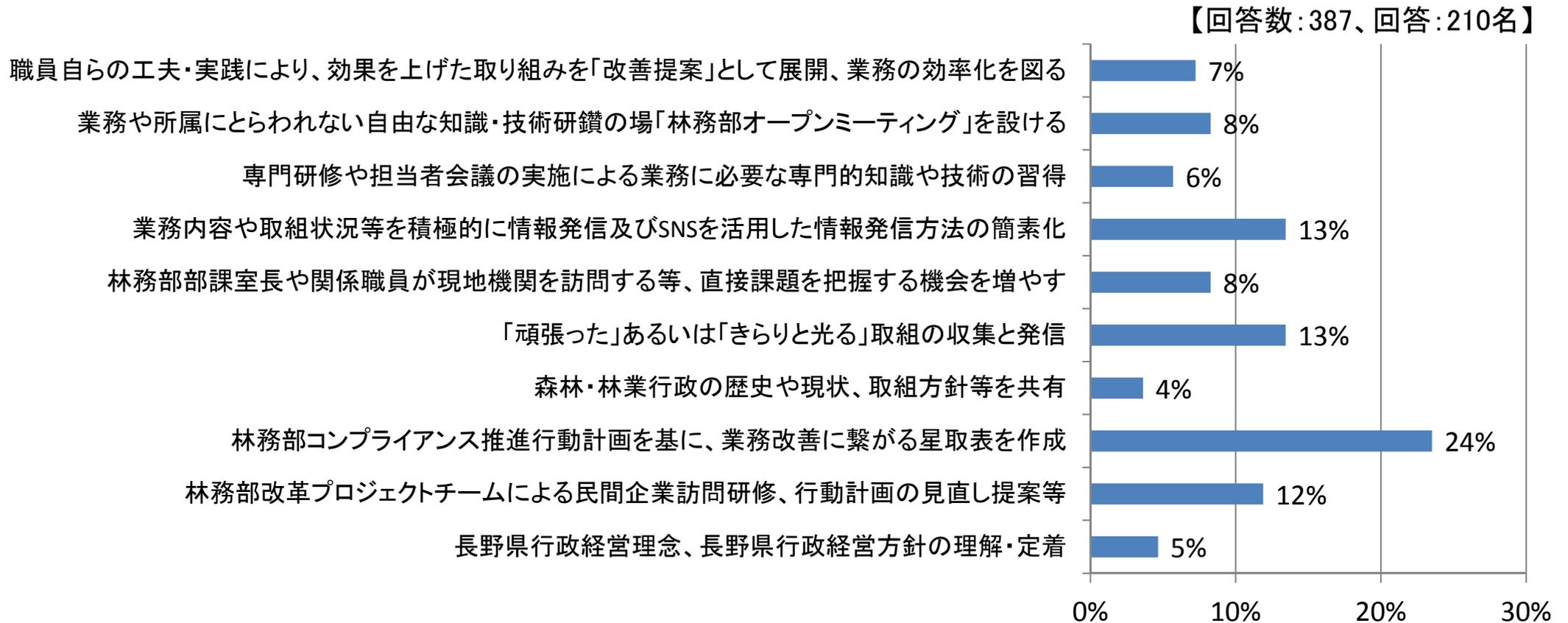
○効果的でないと思う上位3つの取組は、「「頑張った」あるいは「きらりと光る」取組の収集と発信」22%、「星取表の作成」19%、「林務部幹部等の現地機関訪問等による直接課題の把握」12%



# 林務部のコンプライアンスに関する職員意識調査について その7

質問 5 今年度取り組んでいる項目のうち、特に業務上の負担の大きいと思う取組みを最大3つまで挙げてください。

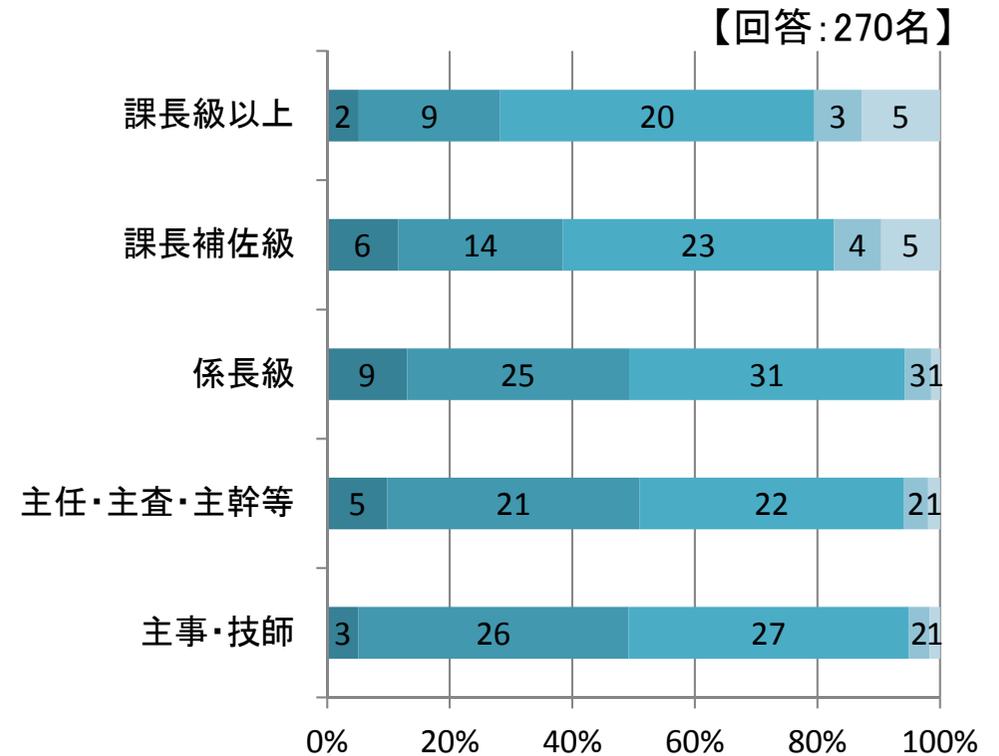
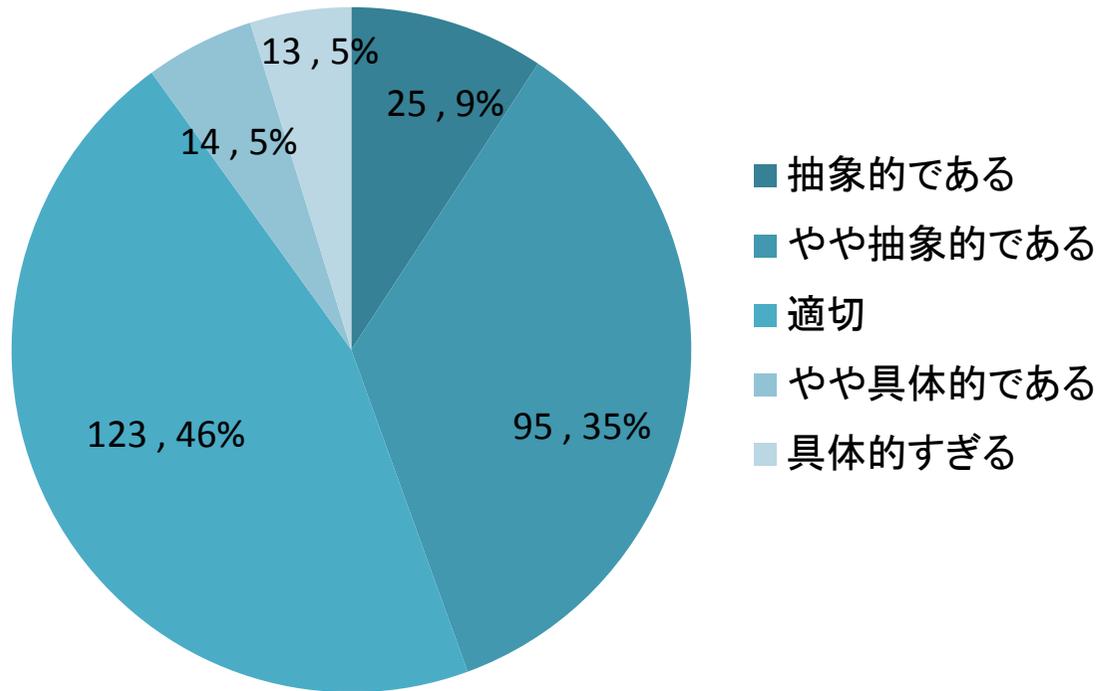
○業務上の負担が大きいと思う上位3つの取組は、「星取表の作成」24%、「「頑張った」あるいは「きらりと光る」取組の収集と発信」13%、「情報発信」13%



# 林務部のコンプライアンスに関する職員意識調査について その8

質問6	林務部コンプライアンス推進行動計画の項目についてどう思いますか。				
回答	抽象的である	やや抽象的である	適切	やや具体的である	具体的すぎる
回答数	25	95	123	14	13
割合	9%	35%	46%	5%	5%

○「適切」は46%、「やや抽象的」は35%に上る

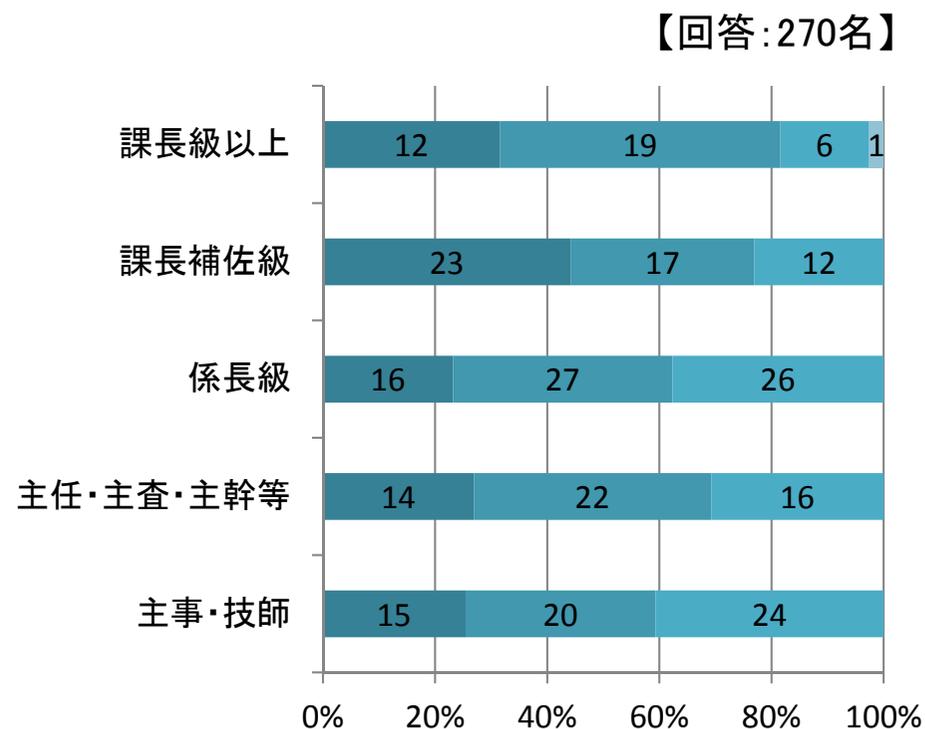
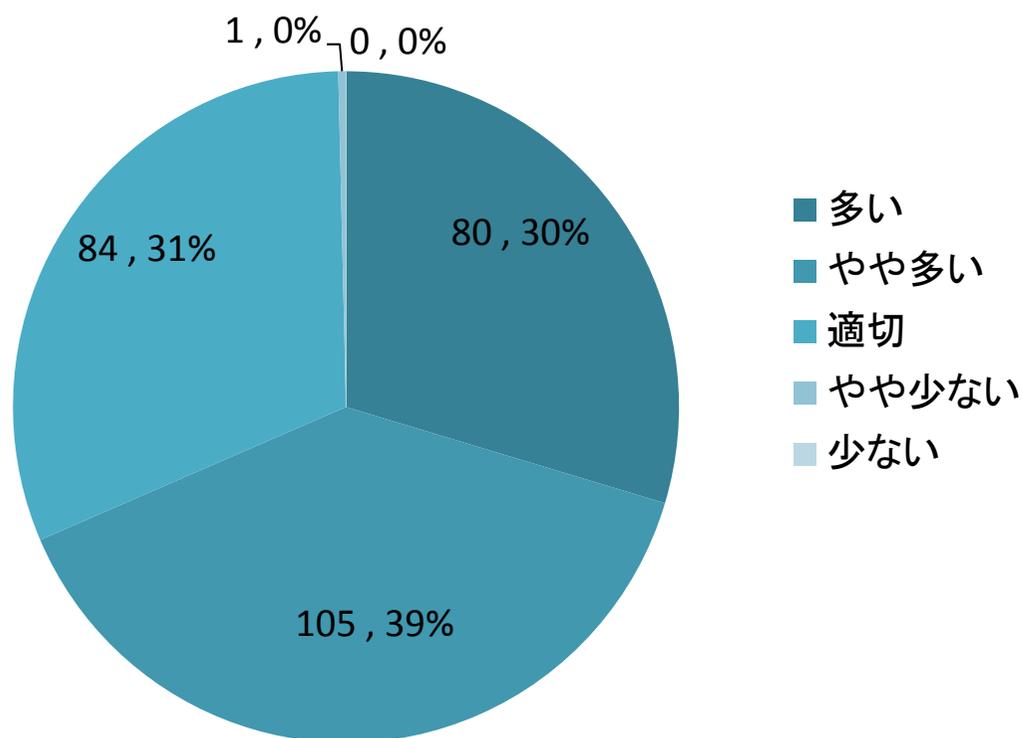


# 林務部のコンプライアンスに関する職員意識調査について その9

質問7	林務部コンプライアンス推進行動計画の項目数についてどう思いますか。				
回答	多い	やや多い	適切	やや少ない	少ない
回答数	80	105	84	1	0
割合	30%	39%	31%	0%	0%

○行動計画の項目数は「やや多い」39%、「適切」31%、「多い」30%

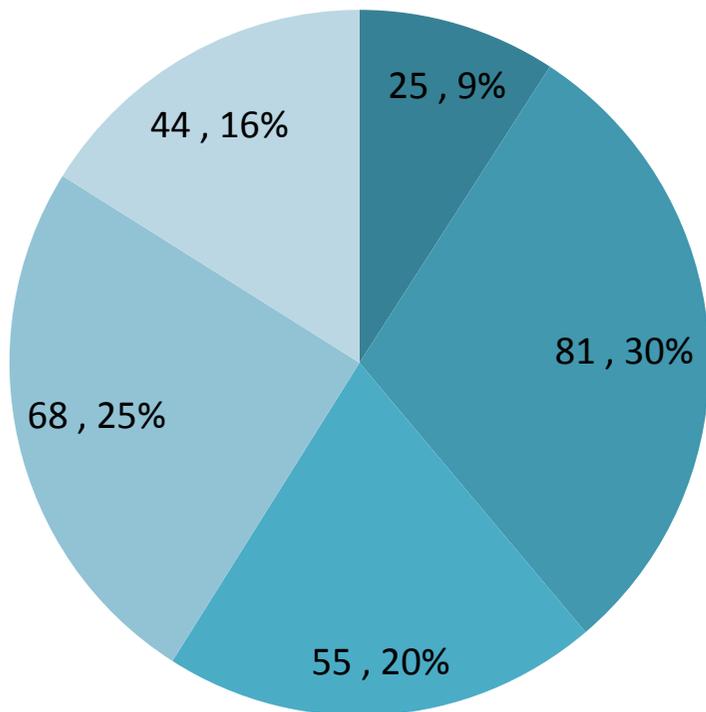
○「多い」か「やや多い」について、課長級以上は82%を占め、主事・技師は59%を占める



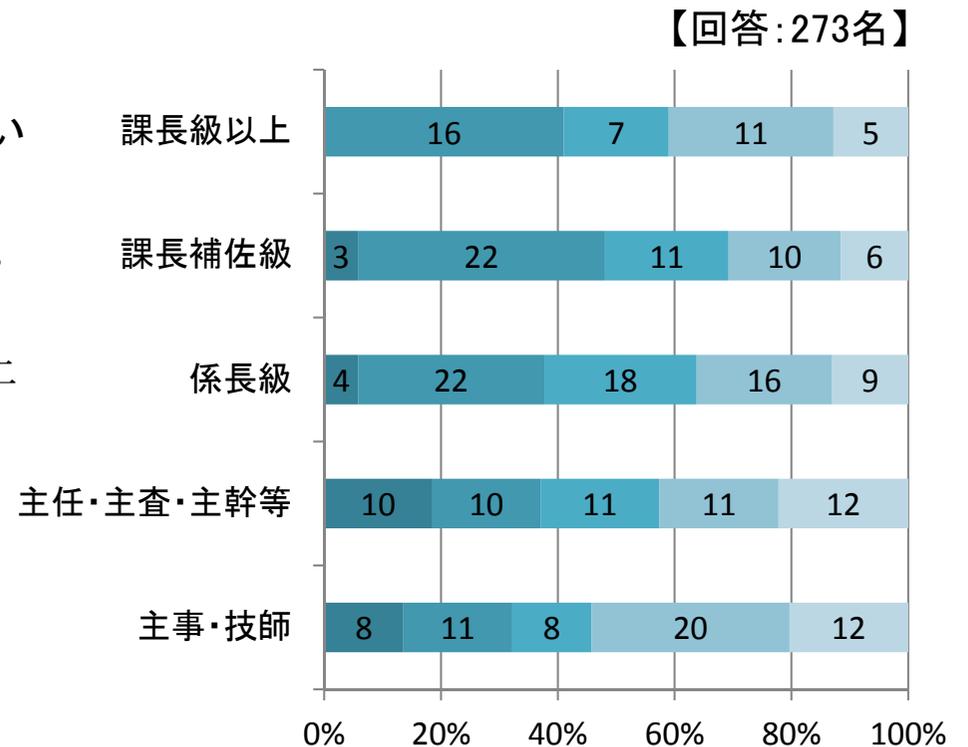
# 林務部のコンプライアンスに関する職員意識調査について その10

質問8	あなたが担当する業務の進捗について、どのくらいの頻度で直属の上司又は属する組織と共有していますか。				
回答	ほとんどしない	1回/月	2回/月以上	1回/週	2回/週以上
回答数	25	81	55	68	44
割合	9%	30%	20%	25%	16%

○業務の進捗を共有する頻度は、「1回/月」30%、「1回/週」25%、「2回/月以上」20%  
 ○「ほとんどしない」が9%いる



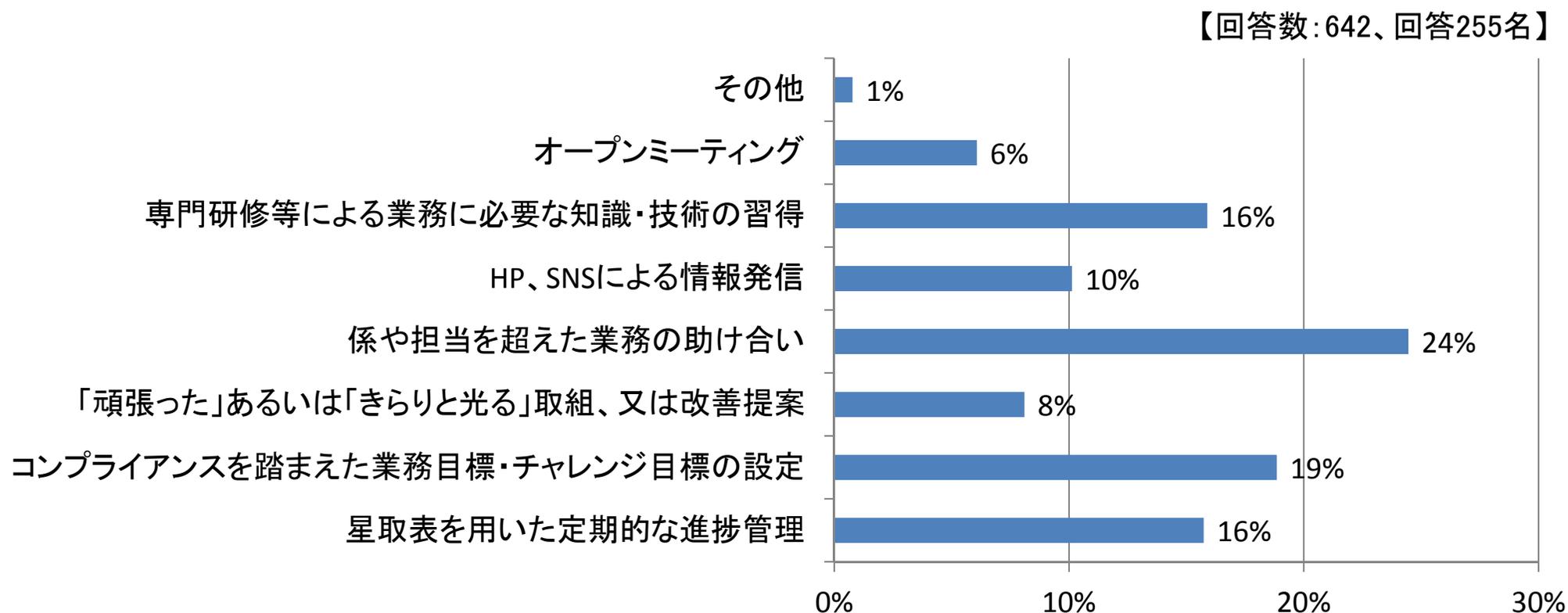
- ほとんどしない
- 1回/月
- 2回/月以上
- 1回/週
- 2回/週以上



# 林務部のコンプライアンスに関する職員意識調査について その11

質問 9 令和元年度及び平成30年度の林務部コンプライアンス推進行動計画の取組項目に関して、あなたが実施、又は参加したことのある取組を全て選択してください。

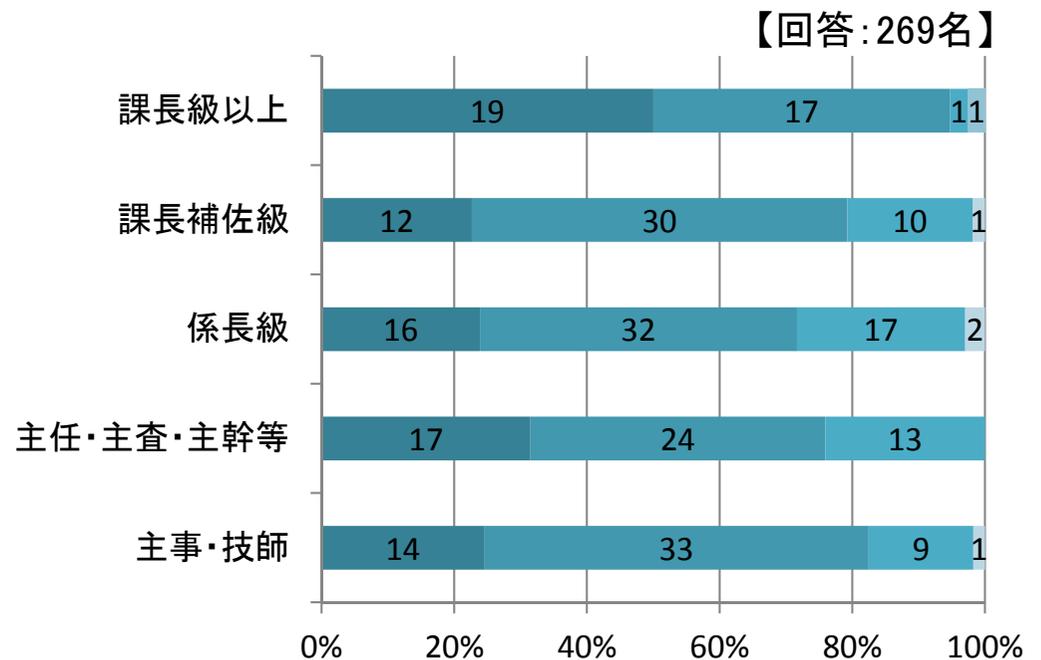
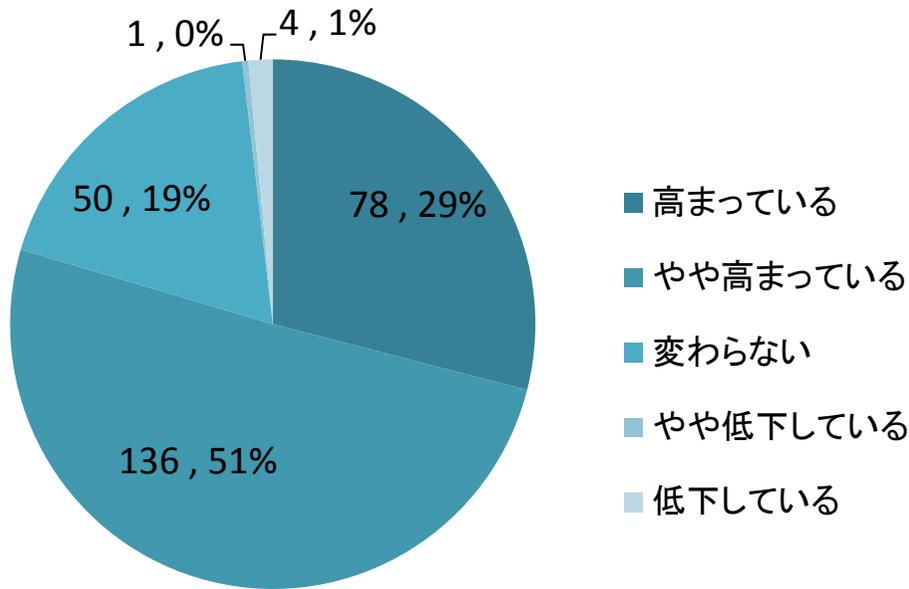
○実施、又は参加したことのある上位3つの取組は、「係や担当を越えた業務の助け合い」24%、「コンプライアンスを踏まえた業務目標・チャレンジ目標の設定」19%、「専門的知識や技術の習得」と「星取表」16%



# 林務部のコンプライアンスに関する職員意識調査について その12

質問10	平成27年10月から始めた林務部コンプライアンス推進行動計画の取組によって、林務部のコンプライアンス意識は高まっていると思いますか。				
回答	高まっている	やや高まっている	変わらない	やや低下している	低下している
回答数	78	136	50	1	4
割合	29%	51%	19%	0%	1%

〇部のコンプライアンス意識は高まっているかは、「やや高まっている」51%、「高まっている」29%、「変わらない」19%



【自由記述】 林務部のコンプライアンスに関する取組についてご意見やご提案がありましたらご記入ください。

## 【主なもの 要旨】

- ① コンプライアンスの本来の意味の理解が進んでいない。  
「コンプライアンス」の名のもと、「問題をおこさない」、「何もしない」職員が多くなったように感じられる。  
若い職員が失敗を恐れ萎縮、意欲の低下が見られており、本来の意味での県民サービスのためのコンプライアンス意識は低下していると感じる。
- ② 業務量が多い中で、コンプライアンス関連で多くの時間を割かれており、省力化も必要。  
限られた人員の中、業務の負担感が高く、業務を減らすことや、適切な人員配置が必要。
- ③ 一生懸命に工夫し取り組んだ事項をしっかりと認めないと、次に続いていかない。  
職員のやる気をそがないようにもっと、上司の工夫が必要。
- ④ 不適切な事案についてのグループワークは継続して取り組むことが必要。  
業務の根拠について、上司が意識して確認することが、重要。
- ⑤ 昇任時などに大北森林組合補助金不適正受給事案の研修が必要。
- ⑥ 民間企業への視察などは効果がないとの意見もあるが、そうした考え方は業務の視野を狭めたり、緊急時に取り乱すもとになると考える。  
コンプライアンスの根本は、組織形態が変わろうと共通であり、幅広い分野から実施状況などを把握する努力が必要。
- ⑦ 林業関係者や市町村等、県以外の関係者と自由に意見交換できる機会が更に必要。
- ⑧ 所属組織内のほか、他所属職員間の交流機会を増やすことが有効。  
業務に関する交流だけでなく、時間外の飲み会や休日のレクリエーションなども重要。
- ⑨ 計画は項目が多く、目的と手段及び重要度の大きささまざまなものが並列で混在。  
取組の柱立てと、目的と手段の整理を行い、シンプルな計画とすべき。
- ⑩ 抽象的、総花的な行動計画になってしまっている。  
若い人には項目を限定し、職責が上がるに従って項目を増やすような行動計画等にしていくべき。
- ⑪ 林務部改革プロジェクトチームについて、若手よりも中堅層がメンバーとして関わるべき。

主な  
意見